I. LAY_GND ベタにビア穴を配置する

基板両面に位置する GND ベタにビア穴を配置します。

ビア穴単体を配置する方法と、パターンを作成、レイヤー変更した個所を両面ベタ間のビア穴として作成する方法がありま す。



ビア穴単体を配置する場合、ビア設定個所にて未使用のビアナンバーを選択、エアギャップの値が『O』のビアパッドスタ ックを作成します。メニュー『ツール/ビアパッドスタック』を選択。



使用していないビアを選択エアギャップを『O』に設定します。

ビアパッドスタック編集 #10 🛛 🔀			
ビア パッド スタック選択			
#10[] → キャンセル			
プロジェクト内でこのバッドスタックを使用したビア 0			
No.	レイヤー名	寸法	形状 ▲
1	COMP.MASK	0.0620″	
2	COMP.LAYER	0.0560″	
3	A	0.0560″	
4	В	0.0560″	
5	0	0.0560″	
6	D	0.0560″	
7	E	0.0560″	
8	F	0.0560″	
9	G	0.0560″	
10	Н	0.0560″	
11	1	0.0560″	
12	J	0.0560″	
13	К	0.0560″	
14	L	0.0560″	
15	M	0.0560″	
16	N	0.0560″	
17	0	0.0560″	
ホール直径 0.0350 ホールカテゴリ 0 🗨			
エアギャ:フ 2.0000″ 単位 inches 🗨			
承認 キャンセル			

メニュー『ツール/パターン』ファンクションツールから『ビア編集/ビア作成』を選択。



操作画面上で右クリックしてビア穴を作成します。



製作マネージャにてベタ面を確認すると下図の様になります。





製作マネージャにて行う『ベタ短絡チェック』で確認可能です。



パターンの一部として配置する場合は、先ずパターンを作成、レイヤー変更してビア穴を表示させます。



このままでは、新たに作成したパターンは『GND ネット』接続されていないパターンとなる為、ネット変更を行います。





製作マネージャにてベタ面を確認すると下図の様になります。



この場合は、誤った接続個所は、レイアウトエディタ『自動/自動チェック』の『クリアランスチェック』にて表示されます。

